

なでしこ

東京都杉並区立大宮中学校 学校だより

令和5年9月27日 第5号(19-69)

発行責任者：校長 関田 誠

『大宮中精神：優しさをもって、夢や目標に向かって、挑戦する若者であれ！』

9/11（月）朝礼校長講話『五郎丸選手覚えていますか？』の話

～二つのルーティンから学ぼう～



今週は 13 日から第二回定期考査です。テスト勉強は順調ですか？今朝はスタートしたばかりの二学期の皆さんの『生活を充実させるコツ』を話します。

週末にフランスで4年に一度のラグビーW 杯が始まったのを知っていますか？私も日本チームを応援していますが、2大会前つまり8年前に、チームのエースとして大活躍した五郎丸選手を覚えていますか？当時、子どもの間でキックの前の動作が話題になりましたね。私たちは良い結果を出したい試合、コンクール、入試等では強烈な重圧がかかります。あの動作はそれを解きほぐして、練習と同じ『普段通りの感覚』を保つ工夫で、心を整えて集中力を高めるために行います。こうした動作をルーティンと言

います。心理学の専門家も認める有効な方法です。

先日教室で、ふと気づいたことがあります。チャイムが鳴って授業が始まった時に、授業の道具が準備されている机、チャイム後にバタバタと鞆やロッカーから慌ただしく置かれる机。何度か見てみると、準備をしている人は机の上のどこに何を置くまで決めている様子です。これも一つのルーティンです。その様子を見ていて、学校でも家庭でも勉強を始める前に、机上を整頓して始める小さな習慣の積み重ねが集中を導くコツかなと思いました。こんな簡単なルーティンをする、授業にうまく入れます。真似してみませんか？

さて、先ほどの五郎丸選手が習慣にした二つ目のルーティンがあります。当時南アフリカ W 杯に向けて、彼が取り組んだことがあります。それは『毎日日記を書く』ことでした。その日あったこと、どう思ったかななどを自由に書き続けたそうです。大会直前の責任感と重圧で、「緊張しすぎて、自分を見失いそうだ」の一言で終わっている日もあったそうです。日記をつけることをルーティン化したことで、頭の中が整理され、過緊張でコチコチになった心を和らげてくれる効果もあったそうです。

大宮中には、この後表彰する『DOノート 42 日間マラソン』で頑張って充実した夏休みを過ごした人がたくさんいます。DOノートを活用した振り返りと改善の一日の終わりのルーティンの効果は、勉強だけに留まりません。部活動、クラブや習い事、自分の趣味まで二学期を充実させることが期待できます。五郎丸選手も「自分は筆まめではなかった」と言っています。三年生は進路選択や受験勉強の今、去年までと違った心理状態になっている人が多いでしょう。カチコチの心を和らげるルーティンとしてDOノートを活用して、3行日記で毎日を振り返って改善をつぶやいてみてはどうでしょうか。耳タコですが、ぜひ夢や目標に日付をつけることを覚えて、挑戦する秋にしましょう。😊



by 紫帆

令和5年度 全国、東京都、杉並区学習状況の調査 結果報告

【全国学力状況調査】 第3学年 4月実施

	国語	数学	英語
本校平均	75.0	63.0	62.0
都平均	72.0	54.0	52.0
全国平均	69.8	51.0	45.6

今年度の調査（いずれも3年生）の結果は、表のとおり3教科すべてにおいて高い数値が出ました。これは本校における二年間の学力向上の取り組みだけでなく、大宮中校区（済美小、大宮小）の8年間の継続した取り組みが結実したものです。一発の打ち上げ花火で終わらないように継続して取り組みます。



by 紫帆

【杉並区特定の課題に対する調査、意識・実態調査】 第3学年 5月実施

	【国語平均正答率(%)】			【数学平均正答率(%)】			【英語平均正答率(%)】		
	杉並区	本校	差	杉並区	本校	差	杉並区	本校	差
R5	61.7	66.2	△4.5	58.3	62.0	△3.7	54.7	55.0	△0.3
R4	62.6	58.7	▲3.9	59.3	58.0	▲1.3	54.4	50.1	▲4.3

【令和5年度 東京都 学力向上を図るための調査 肯定率(数字は%)】

	全学年		1学年		2学年		3学年	
	本校	都	本校	都	本校	都	本校	都

東京都より3%以上高い
東京都より3%以上低い

1 学習の動機

(1) 分かることやできることが楽しいから。	84.6	80.1	90.6	82.1	82.0	77.9	80.0	80.0
(2) しっかり考えられるようになりたいから。	82.8	81.1	87.5	85.3	76.4	78.6	84.0	79.5
(3) 将来の仕事や生活に役立つから。	84.6	81.7	84.4	84.0	89.0	80.9	80.0	80.3
(4) 友達や先生と学習するのが楽しいから。	72.8	68.4	84.3	75.3	74.6	66.2	56.0	63.7
(5) 学校の学習で人に負けたくないから。	52.1	51.3	46.8	49.6	54.5	50.3	56.0	54.0
(6) 先生や家の人にほめられたり、ごほうびをもらえたりするから。	45.5	42.2	42.2	40.9	54.5	42.4	40.0	43.2

「1 学習の動機」では、都の平均より高い項目が多いことから、学習への取り組みへの意欲の高さが分かる。(2)で「しっかり考えられるようになりたい」が、第三学年の学習動機の高数値となっているのは、学年目標「考える人」とつながっている。(3)では全学年とも都の平均より高い数値であり、大宮中生が自らの将来の夢や目標を考えていることがうかがえる。(6)の「ほめられる」と「ごほうびをもらえるから」という学習動機を、生徒がどのようにとらえたのか考えると興味深い。

2 学習の進め方（教科共通）

(1) 確実にできるようになるまで、くり返し練習している。	62.2	65.0	56.3	67.8	61.8	61.2	70.0	67.1
(2) 難しいと感じる問題でも、最後まであきらめずに取り組んでいる。	69.8	69.9	71.9	76.4	63.6	66.3	74.0	66.8
(3) 分からないことがあっても、学習を続けるようにしている。	76.3	77.7	86.6	82.3	69.1	74.4	84.0	76.3
(4) 集中して学習に取り組んでいる。	79.9	79.8	81.2	84.6	76.3	76.8	82.0	77.7
(5) どうやったらうまくいくかを考えてから学習を始めるようにしている。	54.5	60.5	50.0	64.2	49.1	57.0	66.0	60.4
(6) 学習の途中で、分からないところやできないところはどこかを考えている。	80.5	79.6	87.5	81.2	69.1	77.1	84.0	80.5

(7) 学習をしてもできるようにならないときは、学習の方法を工夫している。	63.9	63.6	57.8	66.3	65.4	60.9	70.0	63.6
(8) テストでまちがえたときは、なぜまちがえたのかを考えている。	77.5	77.3	73.5	81.1	78.2	74.6	82.0	76.1
(9) 他の人と意見がちがったときは、質問をして相手の考えを確かめている。	67.5	65.5	71.9	66.1	67.3	63.2	62.0	66.9
(10) 分からないときは、他の人や先生に質問して解決している。	81.1	78.3	82.9	80.0	81.8	76.2	78.0	78.8
(11) 自分が考えたことを、積極的に他の人や先生に伝えようとしている。	47.9	49.0	51.6	51.8	40.0	45.8	52.0	49.3
(12) 他の人と相談して、考えを深めるようにしている。	74.0	69.8	89.7	72.2	67.3	67.1	74.0	70.3
(13) 学習していて分からない言葉があれば、すぐに調べるようにしている。	62.7	69.0	50.0	67.8	61.9	67.1	90.0	72.0
(14) どうしてそうなのかという理由を考えながら学習している。	79.3	77.6	78.1	79.3	74.5	75.1	86.0	78.5
(15) 答えだけでなく、考え方も確かめながら学習している。	78.7	78.2	82.8	79.4	70.9	75.7	82.0	79.4
(16) 大切な言葉や公式などは、意味を理解して覚えるようにしている。	87.6	87.2	90.6	89.2	87.3	85.5	84.0	86.8

「2 学習の進め方（教科共通）」では、全項目において都の平均に比べ高い割合である3年生は素晴らしい。こうした背景が、全国学力調査において三教科すべてが全国、都の平均を上回っている要因だと考えられる。要するに3年生には学習の進め方が分かっている生徒が多いと言える。今後1、2年生には、各教科の授業で学習の進め方についての、具体的な支援が必要である。特に（1）（2）（5）（13）のついて、1,2年生の生徒自身も、2年後、1年後の学習状況に成果を出せるように、3年生の背中を見ながら自律的に努力を積み上げてほしい。

3 各教科の授業の内容に対する理解の程度

(1) 国語の授業の内容はどのくらい分かりますか。	91.2	89.5	90.7	91.1	92.7	88.3	90.0	89.1
(2) 社会の授業の内容はどのくらい分かりますか。	68.1	82.6	68.7	83.0	65.4	80.4	70.0	84.1
(3) 数学の授業の内容はどのくらい分かりますか。	89.4	84.6	90.6	87.0	94.6	82.2	82.0	83.6
(4) 理科の授業の内容はどのくらい分かりますか。	65.1	80.4	64.1	86.6	63.6	79.0	68.0	75.6
(5) 英語の授業の内容はどのくらい分かりますか。	78.7	76.5	76.6	82.3	74.5	73.3	78.0	73.7

「3 各教科の授業の内容はどれくらいわかりますか」の質問について『よく分かる・まあ分かる』という生徒の割合は国語、数学、英語は、いずれも東京都の平均よりほぼ高いことが分かる。それに対して社会、理科では全学年で東京都の平均よりかなり低い結果となった。これらの教科について、指導方法、指導内容、生徒の現状等について、各教科部会で分析・検討し、共通理解のもとで学習指導をして、授業内容について生徒の理解を深める必要がある。

4 各教科の学習を得意と感じる意識の程度

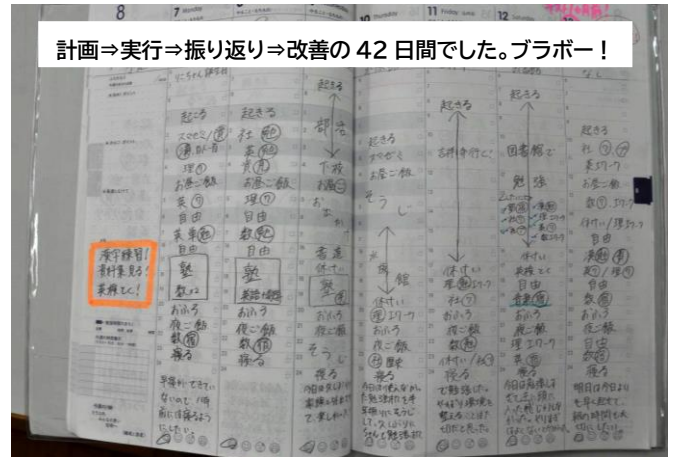
(1) 国語の学習はどのくらい得意ですか。	58.5	54.7	57.8	55.7	72.7	53.5	64.0	54.9
(2) 社会の学習はどのくらい得意ですか。	41.4	51.0	39.1	51.7	34.5	48.4	52.0	53.0
(3) 数学の学習はどのくらい得意ですか。	62.1	57.7	59.4	64.8	69.0	54.5	58.0	53.9
(4) 理科の学習はどのくらい得意ですか。	41.4	53.2	36.0	60.4	43.6	52.8	46.0	46.3
(5) 英語の学習はどのくらい得意ですか。	53.8	49.1	51.5	57.9	58.2	46.0	52.0	43.3

「4 各教科の学習はどのくらい得意ですか」という質問について『得意・まあまあ得意』と答えた生徒の割合が、国語、数学、英語は、いずれも東京都の平均よりほぼ高いことが分かる。対照的に社会、理科ではいずれも東京都の平均よりかなり低い数値である。また、各教科で「得意だ」という肯定的な回答の割合が、全体的にあまり高い数値になっていない。質問3の「分かる」という数値が高い学年、教科が多いことから、単純に「授業内容が分かる＝得意である」という関係にはなっていない。あらためて生徒が「得意だ」と感じる意識が育つ要素を再考しながら、指導方法、指導内容、生徒の現状等について、各教科部会で分析・検討し、共通理解のもとで学習指導をしていく必要がある。

8/29（火）始業式校長式辞 『今に満足せず挑戦の二学期』の話

今日から二学期です。皆さんの表情を見ると、久しぶりの仲間や先生方との再会に、喜びや新鮮な空気を感じます。この42日間、最高気温が30℃を下回った日はなかった異常気象の毎日でした。私は夏大好き人間ですが、今年は早く秋にならんかな、とぼやいていました。国内は地方の大雨や竜巻、東京はカラカラ天気、海外ではハワイで大火事も記憶に新しいですね。東京はエアコンがないと生きていけない環境になっています。9月以降も気を引き締めて、校内でのカーボンハーフの取組みを思い出しましょう。

さて、夏休みは猛暑に負けそうになった日はなかったですか？正直、私も暑さに負けた日がありました。生徒の皆さんがどのように過ごしたか、今日提出してもらったDOノートをじっくり読ませてもらうのが楽しみです。終業式でお知らせした通り、『42日間DOノートマラソン』の取組みで『パーフェクトラン賞』『グッドジョブ賞』『ナイスクラス賞』を選びます。この後、私と沼田副校長ですぐに審査に入ります。



二学期の登校日は82日、休日も入れると119日です。まずは授業を中心に集中と休息、緊張とリラックスのメリハリのある充実した日々にししましょう。10月中旬にはビッグイベントの文化発表会も控えています。どうせやるなら大きな感動を伴い達成感のある時間にしましょう。そのために、学校全体でゴールに向かって、計画的に準備をして、仲間との信頼や絆を深めるイベントにししましょう。並行して、三年生は修学旅行、進路決定の正念場を迎えます。集中と休息を上手く切り替えながら、心と身体の健康を維持しましょう。受験は一人ひとりが努力する個人戦の要素と、仲間、学級、学年、そして家族で支え合う団体戦の要素があります。独りで立ち向かわず、まわりの人と励まし合う二学期にしてください。二年生は大宮中を支える中心的な存在を期待されます。一年生にも模範を示す立場です。授業を中心とした学習、委員会や部活動などでリーダーシップを発揮してほしい。皆さんならできます。一年生は夏休みを経て、小学生の面影が消えて、身体が一回り大きくなっています。心もたくましく成長していると信じています。順風満帆の日々だけでなく、悩みや不安を抱えたら、先生方やまわりの人に相談しましょう。先生方はみなさんの二学期82日間の成長を、温かく見守ります。

最後に、二学期も今年の漢字『挑』、挑戦をベースに過ごしましょう。目の前に平らな道と辛い登り坂があったらどちらを選ぶのかということです。また、夏休みにDOノートを使って良い習慣を刻んだ人は、二学期も継続しましょう。一日の成長は1ミリでも二学期が終わる頃には、驚くような成長をしてやるぞと信じて、大宮中全体で夢や目標に挑む雰囲気をつくりましょう。😊

この夏に大宮中生の課題とした『DOノート(G組は夏休みの生活の記録)42日間マラソン』の結果です。全校生徒202人中、完走した『パーフェクトラン賞』が74名、準完走の『グッドジョブ賞』が38名でした。7学級のうち、70%以上の生徒が入賞した学級は、唯一1年A組でした。『ナイスクラス賞』として表彰しました。大宮中生、よく頑張りました。!『継続は力なり』です。